

被災漁船員(死亡者)名簿 特徴的な被災船に限って

第5海福丸 ▼死亡 ♠ガン (確認漁船員 20 名中 12 名死亡)

No.	氏名	職種	生年月日	没年令(没年月日)	特記事項
1		船長	1938	▼♠50歳(1988没)	・66年吐血 胃潰瘍手術、肝臓がん ・87年11月 高知市民病院入院 黄疸 当時は25歳
2		漁労長	1912	▼72歳(1984.12没)	・心筋梗塞(72歳の時)
3		機関長	1939	▼♠32歳(1971没)	・1971年 膵臓ガン死(娘)
4		甲板員		▼♠72歳 (2001.3.29没)	・肺ガン右肺の半分、翌年全部摘出。(日赤病院藤島医師)。1995胃の手術。10月腸閉塞。 96. 2室戸病院入院 96・4日赤に入院 2000日赤に入院
5		機関員	1933.1.10	▼♠ 80歳 (2013.4.7没)	リンパ腺ガン、白血病。操業直後全身に痛みが出た。健康体だったが、その時分から寒気がし、思考力、記憶力もゼロになった。被災後3、4年頃から体が硬くなり、もの凄く痛くなってノイローゼになった。
6		甲板員		▼	
7		賄い		▼	病死
8		甲板員		▼	・胃潰瘍で5～6回手術。大阪で死亡。
9		甲板員		▼70～75歳	病死。脳血管関係の疾患？ 亡くなったのは20年位前。玄関で倒れて8年間ほど入院していた。70～75歳位
10		甲板員		▼♠70歳頃	・腸ガン。「胃ガンで20年位前に亡くなった。70歳位
11		甲板員		▼21歳頃	・事故(けんかで刺され死亡)
12		甲板員		▼(2007頃没)	

第11高知丸 ▼死亡 ♠ガン (確認漁船員4名中3名死亡)

No.	氏名	職種	生年月日	没年齢(没年月日)	特記事項
1		船長		▼82歳(2011没)	3月1日、暗闇に稲妻が走り、水平線が急に明るくなった。その後、オレンジと紫が交じった太陽が上がった。爆心地から370キロだったが、それが水爆実験だとは知らなかった。広島原爆病院で診てもらいたかったが、広島・長崎の被爆者以外はダメだと断られた。
2				▼50歳(1975没)	39歳乗船中、病気で空輸。吐血、肝機能(造血)障害。横須賀の病院入院、死後解剖される(祖母の承諾)
3			1939.10.18	▼♠76歳(2014没)	ブラボー爆発時、船内で寝ていたがもの凄い光でビックリ、しばらくして灰が降ってきた。67歳肺癌、片肺切除。72歳前立腺ガン手術。81歳腰手術。肺塞栓。証拠を残すため「歯を抜いてくれ」と医師に頼むも拒まれた。

第2幸成丸 ▼死亡 ♠ガン (確認漁船員21名中16名死亡)

	氏名	職種	生年月日	没年齢(没年月日)	特記事項
1		漁労長	1918・1・3	▼♠68歳(1985・6・2没)	直腸がんで急死。息子に「死の灰を浴びた」と語る。
2		通信使	1925・8・8	▼73歳(1999.6.10没)	肺気腫で死亡。死の1,2年前から機械で酸素吸入。妻に「水爆実験の雲を見た」と語る。
3		機関長	1925・10・15	▼53歳	室戸沖航行中、心臓麻痺で急死。妻も亡くなり、一家転居。住所不明。
4		甲板員	1932・3・10	▼71歳(2003・10没)	頭部300カウント。2003心臓麻痺死(沖で)
5		甲板員	1931・3・21	▼80歳	
6		船長	1925・1・22	▼63歳(1988・4・30没)	心疾患のためニトログリセリンを携帯していた。心臓発作で急死。当時の航海日誌あり。
7		機関員	1932・6・24	▼♠54歳(1986・10・3没)	ヘルニアの持病。肺がん死。1983・84頃「手がしびれる」と言っていた。
8		機関員	1932・4・13	▼64歳(1994・8没)	心不全で下船し公務員に。筋肉萎縮硬化症で死亡
9		甲板員	1936・6・3	▼47歳	肝硬変で死亡
10		機関員	1912・12・27	▼♠59歳(1989.12.27没)	糖尿病。風呂場で意識不明になり入院。血液がんで死亡。「灰をかぶった」と言っていた(妻)
11			1928・1・13	▼80歳	73才の時、高血圧で失明。認知症。死亡
12		機関員	1925	▼54歳(1999・6・25没)	血糖値が高かった。19トンの船で出漁中、心臓麻痺で死亡
13		機関員	1932・1・5	▼78歳	体中できもの。病名が付かない。難聴。高血圧。20年以上通院。死亡
14				▼♠	ガン死(船主証言)
15				▼	糖尿病死(船主証言)
16				▼	糖尿病死(船主証言)

第7大丸 ▼死亡 ♠ガン (確認漁船員 23名中15名死亡)

	氏名	職種	生年月日	没年齢(没年月日)	特記事項
1		漁労長	1923	▼ 67 歳(1990 頃没)	・浦賀入港前米軍の飛行機がつけてくる。 ・魚はガイガーの値が高いものは捨てる。 ・室戸で、着ていたものはすべて焼く。曾我部季教授の指示で、1年に一回検査。
2		船長	1924・5・2	▼♠77 歳(2001・8・31 没)	・肺がん。年一回吐血 4-5日続く 当時に下痢 白血球減少 歯茎より出血
3		局長	1923・11・3	▼♠80 歳(2003 没)	・胆管ガン。1979 か 1980 年胃ガンの疑いで手術。網膜炎。・2003 肝臓近くのくだに癌 死亡
4		機関長	1919・11・25	▼72 歳(1991・2・23 没)	・心臓、肝臓、呼吸困難、白内障 耳にただれ 当時白血球少ない
5		甲板長	1920・7・5	▼♠48 歳(1967・6・11 没)	・肝臓ガン。腹水でふくれ死亡 凶南病院。灰を口に入れる。下船後胃の病気で入院。・凶南病院で死亡。
6				▼	沖でけんかして死亡
7			1935・12・3	▼78 歳(2013 没)	・腎臓病 高須病院で週3回透析。糖尿病。
8				▼70 歳(2004 没)	・聴力遠い 体のしびれ オレンジの光が尾を引くのを目撃。死因は高血圧の為。
9				▼(1957 没)	・遭難死。1957 年頃 ソロモン海域。サイパン丸所属船の一つ。
10				▼♠59 歳(1989 没)	・すい臓がんによる
11				▼(2004.11.10 没)	
12		機関員	1934・9・19	▼♠80 歳	「元気な人で自分の船で魚を釣っていた。8 年前に胃ガンの手術をして、4 年後に80 歳で亡くなった。」
13		甲板員	1921・3・5	▼♠93 歳	「父からは皮膚がただれたという話しか聞いていない。大腸ガンの手術はしているが、死因は老衰。」
14		甲板員	1932・4・12	▼♠84 歳	膀胱癌で死亡。「死亡診断書は脱水による高カリウム欠乏症」
15		甲板員		▼♠	・ガン 耳の後ろ ・大阪へ

第8順光丸 ▼死亡 ♠ガン (確認漁船員9名中7名死亡)

	氏名	職域	生年月日	没年齢(没年月日)	特記事項
1		漁労長	1915	▼	船から転落死
2		甲板員	1929	▼	心臓病で死亡
3		甲板員	1907	▼	肝障害で死亡
4		甲板員	1929	▼♠27歳 (1956.3.23 没)	急性骨髄性白血病死(死亡診断書)。航海時、海を泳いで他船へペニシリンを届けた。下船後、長期にわたり体の不調を訴える。全身がだるく、微熱がずっと続く。日本医科大学に1955.5~3ヶ月入院。医師からは何の説明もなく、「生の血液が必要」と言われ、何度も輸血。8月退院するも1956正月再入院。40度を超える高熱が続く。死後、病院は解剖させてくれとしつこかったが、拒絶。
5		甲板員	1918・3・30	▼83歳(2001病死)	胃潰瘍、神経痛、脳軟化症。他に下船後、かゆみ、脱毛、倦怠感など身体の異常を自覚、特に体中のかゆみは最後までとれなかった。
6		甲板員	1929	▼	身体のしびれで通院
7		甲板員	1929	▼♠(50代で死亡)	ガンで死亡

第5明賀丸 ▼死亡 ♠ガン (確認漁船員16名中12名死亡)

No.	氏名	職種	生年月日	没年齢(没年月日)	特記事項
1		船長		▼	ビキニ操業後、船を持ち操業中に遭難死
2		漁労長		▼	86~7歳で死亡。死因不明
3		甲板員		▼♠(2017.6.19 没)	胃ガン死。10年前に脳梗塞
4			1923.6.17	▼♠	肺ガン
5			1928.10.16	▼♠(2000 頃)	ガン死(60代後半)
6			1933.1.19	▼	脳梗塞死(5、6年前)
7			1929.12.20	▼♠	癌(胃ガン?)
8				▼♠	肝臓ガンで死亡
9				▼♠	胃ガン
10				▼	ビキニ操業後、遭難死
11			1918・11・3	▼♠80歳頃	皮膚ガン(8年前?)。皮膚ガンが進行し、肺に転移
12				▼	

新生丸(宿毛市内外ノ浦のみ) ▼死亡 ♠ガン (確認漁船員 7 名中7名死亡)

No.	氏名	職種	生年月日	没年令(没年月日)	特記事項
1		漁労長	1910・7・24	▼83歳	
2		甲板長	1926・3・15	▼♠53歳(1918.3.15 没)	脳腫瘍、2ヶ月入院後死亡。頭が痛い
3		甲板員	1923・1・29	▼♠61歳(1983.5.28 没)	喉頭ガン(吐血で突然死)。55歳から喉、胃の痛み。窓から外へ大量の血を吐いて死亡(警察が検査)
4		甲板員	1926・5・15	▼73歳(1999.7.9 没)	心臓発作。50歳で糖尿病、背中一面の水膨れで入院。血管が破裂し、突然死
5		甲板員	1932・5・10	▼♠52歳(1983.6.16 没)	大腸ガン
6		甲板員	1933・12・29	▼78歳(2012.7.22 没)	人工血管移植手術。胃手術、皮膚炎
7		甲板員	1934・10・3	▼♠58歳(1993.1.5 没)	肝臓ガン、B型肝炎、1986年白血球3600

弥彦丸(貨物船) ▼死亡 ♠ガン (確認船員10名中10名死亡)

No.	氏名	職種	生年月日	没年令(没年月日)	特記事項
1		事務長		▼♠45歳(1965.4.19 没)	大腸ガンで死亡。1963年以来腹痛で入退院を繰り返す。発病までは喘息以外病気をしたことがなかったのに・・・
2		調理員		▼♠70歳(1973.5.15 没)	胃ガンで死亡。1973年春胸が急に痛みだし入院、同年5月死亡。
3		操機長		▼♠65歳(1967.10.28 没)	リンパ腺ガンで死亡。1966年首にしこり、翌年左脇下にしこり肥大。10月死亡。病気ひとつしなかったのに
4		機庫手		▼58歳(1961.6.24 没)	気管支ぜんそくで死亡。
5		機関長		▼♠59歳(1964.8.2 没)	胃ガンで死亡。陸上勤務以前は強い体だった。早死にが不思議でならない。
6		船長		▼77歳(1979.7.31 没)	脳血栓で死亡。
7		司厨長		▼69歳(1963・5.18 没)	腎臓炎で死亡。1957年急性腎臓炎で下船、入院。62年頃から寝たきり。翌年死亡。
8		機関員		▼28歳	急性心拍停止で死亡
9		機関員		▼36歳(1965.8.21 没)	リウマチ性心内膜炎で死亡。1958年手足・首の関節痛で下船、通院。65年寝付く。子どもの頃から頑丈だった。
10		調理員		▼52歳(1979.11.16 没)	転落死(労災)。1968年ノイローゼで入院。